

■山中地区 空間づくりの方針 (案)

湖畔では「自然の風景」と出会い、旧道沿いでは「暮らしの風景」と出会う。こうした出会いを次々と体験しながら回遊できるまちとする。

【明神前交差点】森を抜けて初めて湖と出会う場として演出し、様々な活動の拠点でありかつ年に一度の安産祭りを堪能できる湖畔の広場とする。
 【たて道】行き来することで「湖畔の風景」と「旧道の暮らし、富士山の風景」の双方と出会う道として演出する。



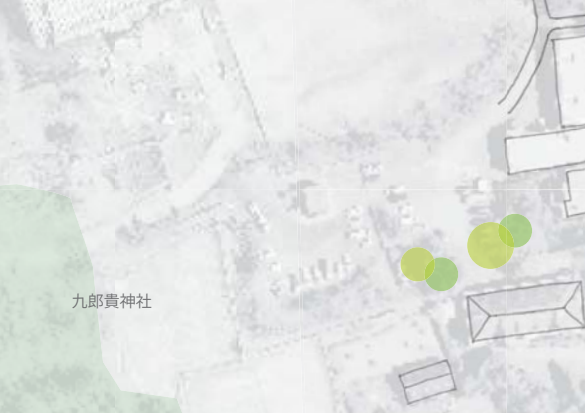
■山中たて道 <計画> <一部整備済み>

「鎌倉往還と湖畔を山中湖村の自然にあった味わいのあるみちでつなぎ、庭のように地域で育てる風景をつくる」

1. 鎌倉往還と湖畔を味わいのあるみちでつなく
2. 山中湖村の自然にあった素材
3. 庭のように、地域でみちの風景を育てる



整備済みの村道山中18号



○山中湖おもてなしの会 (村民活動)

- ・山中湖一周ぐるりんゴミ拾い
- ・3ヶ国語ハイキングマップ作成



○山中諏訪隣保組第四隣保組 (村民活動)

- ・梁辰通り・サイクリング道 花の道プロジェクト



○安産祭り普及委員会 (村民活動)

- ・山中諏訪神社・山中明神例大 安産祭り情報案内紙作成

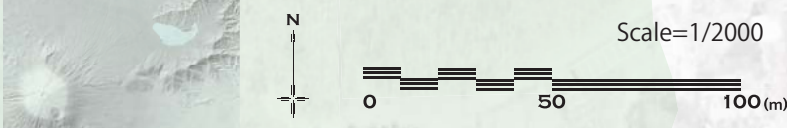


○空き保養所の活用・湖雲荘 (村民活動)



○わかさぎプロジェクト (村民活動)

- わかさぎの魅力を発信



■明神前交差点整備構想 <構想>

基本的な考え方
 「まちと湖をつなぐ にぎわいの水辺広場」

- ・建物と一体となった歩行者デッキを設ける
- ・通学路や観光客のなどを考慮し、水辺を含めた回遊動線を確保する
- ・利用者の行動に合わせ、建物内に各施設を配置
- ・中央のひろばを開むよう、デッキ・テラス・舞台などを配置

■山中湖畔駐車場 <構想>

コンセプト「富士山中湖ベース」
 豊かな自然と雄大にそびえる世界遺産富士の景色を堪能しながら、風を感じて走る。世界中のサイクリストが一度は訪れてみたいと思う自転車の聖地

01. 本立に開かれた公園のような駐車場
02. 交差点へと繋がる並木道のサイクリングロード
03. サイクリストのための溜まりの空間
04. たて道から湖へと繋がる緑の連続
05. 様々な交通機関が集まる、交通の結節点
06. 段階的に駐車場を移設し、富士山の眺望にふさわしい湖畔の風景をつくる



■歩行者自転車道 <整備計画・一部整備済み>

場所を特定しない宝・近隣の宝
 ★ 鉄道馬車(馬とくらし)
 ★ 雪代対策の石垣

凡例

- 旧道
- 安産祭り神輿ルート
- ★ 宝

| | |
|---------------|---|
| ○ まちづくり活動・ソフト | (村民活動) 村民が主体となって行っているもの (協働) 村民と役場が協力して行っているもの |
| ■ 整備事業・ハード | <構想> 実現までに十分な検討・協議が必要なもの <計画> 実現に向けた検討・協議が始まっているもの |
| □ | 将来の展開予想・将来へ向けた考察 |